

近江楽座

まち・むら・くらしふれあい工舎

2022

学生も

大学も

地域も、

いっしょに育つ。

http://ohmirakuza.net/
滋賀県立大学 スチューデントファーム「近江楽座」まち・むら・くらしふれあい工舎

STUDENT FARM

「近江楽座」= 学生の力を生かして、地域に学び、育ち、貢献できる場

「近江楽座 (おうみらくざ)」とは?

滋賀県立大学の“スチューデントファーム「近江楽座」-まち・むら・くらしふれあい工舎-”は、地域貢献を目的とする学生主体のプロジェクトを募集、選定して、全学的に支援する教育プログラムです。2004年度に文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に採択され、2006年度までの3年間の活動実績が大学発地域貢献の先進的な取組として、学内外で高く評価されました。そして、翌2007年度からは大学独自の予算を用いてプログラムを継続し、これまでに培ってきたノウハウや地域とのつながりを生かし、更なる活動を展開しています。

教育効果を高め、大学と地域の連携を深めるための3つの目標

- 地域の課題に大学・学生が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する。
- 学生が地域の方々と一緒に活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。
- 大学と地域が共同して、よりよい地域づくり・人づくりにつながるしくみをつくる。

3つのサポートシステム

近江楽座専門委員会・学生委員会・近江楽座事務局(地域共生センター)の連携の下、3つのサポートシステムにより、全学的に活動を推進しています。

■ 活動助成システム

「近江楽座」として選定されたプロジェクトの事業計画に基づき、活動に必要な事業費を審査し、助成します。

■ コンサルティングシステム

教員の指導・助言に加え、行政や専門家の紹介、各種講習会の開催など、学生がプロジェクトを進めていくために必要なコンサルティングを行います。

■ 活動情報の発信・共有システム

中間報告会や活動報告会で活動の成果を共有・発信するとともに、ホームページやSNS、パブリシティなどにより活動の情報発信をサポートします。

プロジェクトタイプ

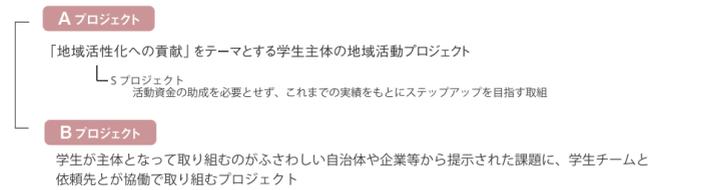
これまでの18年間で延べ404のプロジェクトが活動を展開しています。

■ Aプロジェクト(学生主体型プロジェクト)

SDGsの視点を踏まえ「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動を募集し、プレゼンテーションと審査を行い、支援するプロジェクトを選定しています。また、これまでの近江楽座での実績をもとに更なるステップアップを目指し、活動資金の支援を必要としないプロジェクトを特別にSプロジェクトとして選定しています。

■ Bプロジェクト(地域協働型プロジェクト)

自治体や企業、団体等から依頼のあった課題の中で、学生が中心になって取り込むのがふさわしいものについて、学生主体のグループを募集し、指導教員、地域共生センターおよび依頼先とが協働でプロジェクトに取り組みます。現在、「県営開田今団地コミュニティ再生プロジェクト」(2016～)に取り組んでいます。



主な流れ

step1 発起

近江楽座につながる活動の芽

- 「学生主体による地域貢献活動」がキーワード
 - 大学での授業、フィールドワーク、研究など全てが近江楽座につながる活動の芽
- 学生ならではの視点で地域の課題や魅力を見出し、新たな実験的な試みを蓄積していくことができます。



プレゼンテーション

step2 計画

一年間で成果を上げるためのプランニング

- 年一回、近江楽座のプロジェクト募集と審査会
 - 学生主体の活動であれば、誰でも応募可能
 - プレゼンテーションと厳正な審査を経て採択
- 審査会を経験することで、学生たちのプレゼンテーション能力が養われます。また、審査を通して自分たちのプロジェクトの評価を確認することができます。



交流会

step3 活動

独自の支援を活用したプロジェクト展開

- 活動資金の助成により、実践的な活動展開が可能
 - 教員と事務局が連携した全学的なサポート体制
 - 活動の中間報告を行い、活動の進捗状況を把握
- 活動助成やコンサルティングといった活動支援に加えて、近江楽座がこれまで培ってきたノウハウや地域とのつながりをもとに更なる成果や展開も生まれていきます。



中間報告会

step4 報告

大学、地域と共に成果と課題の再認識

- 全てのチームで一年間の活動をフィードバックし成果と課題を共有し合う
 - 成果の発表だけでなく、地域関係や一般の方とともに意見交換できる場づくり
- 活動成果の展示発表と同時に、地域の方々や外部講師を招いて開催します。より多くの方々と共にまちづくりを考える場をつくることで、近江楽座の活動を広くアピールして取組の発展を図ります。



成果報告会

近江楽座を経験し、地域へのまなざしを持つことで
学生もプロジェクトも次のステップへ。
そして、次へつながる新たな“種”が生まれる。

— VOICE / 先輩の声 —

吉田瑛里奈さん (Ichirin)
とよさと快蔵プロジェクト (2012～2015)



「地域の人」ではなく「○○さん」として向き合うことを大切に

私はとよさと快蔵プロジェクトで改修したシェアハウスに学生の頃から住み続け、近江楽座での経験が、今の暮らしや仕事に繋がって、豊郷町内でデザイナーをしています。近江楽座では、自ら行動した分、経験を得ることができ、部活やサークルと違い、大学を出て社会の人たちと関わります。その際は、挨拶、そして「地域の人」ではなく「○○さん」という個人として向き合うことを大切にしてください。より深い信頼関係を築け、活動の幅も広がります。滋賀県立大学での貴重な経験を楽しんでください。

Sプロジェクトであることに対する責任感を持って活動していました。約1000個の蠟燭を使用するOKBストリートキャンドルナイトは特に印象的で、天候への対応や、緊張の中での代表挨拶が大変でした。関係者のご協力で助けられていたイベントでもあります。また、あかりんちゅはどんな場所でも活動できる所が強みで、他団体からのお誘いによってできた人とのつながりも多くありました。コロナ禍で一度途絶えたつながりでも、過去の積み重ねから再び繋ぐことが出来るはずですよ。また、近江楽座同士の連携も大切に、新しい活動の模索をしてみてください！

大橋日菜子さん (和菓子作り 近江三方庵)
あかりんちゅ (2016-2019)



自分たちだけの団体にとどまらず積極的に他団体との交流を!

SCHEDULE 2022 - 2023

4月 / April

2021年度活動報告会(4/20-4/22)
2022年度プロジェクト学内公募(4/26-5/16)

5月 / May

2022年度プレゼンテーション・審査会(5/28)

6月 / June

2022年度採択プロジェクト発表(6/2)
プロジェクト活動開始(6/6)
活動説明会(6/6)
湖風夏祭(6/18)
スキルアップ講座(6/28)

「おうみらくざプロジェクトレポート」発行開始

7月 / July

滋賀県立大学オープンキャンパス(7/23,7/24)
スキルアップ講座

10月 / October

スキルアップ講座

11月 / November

湖風祭(11/5,11/6)
2022年度中間報告会

3月 / March

活動実績報告

4月 / April

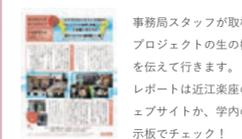
2022年度活動報告会

ウェブサイトの情報が充実!



各プロジェクトについてはもちろん、楽座人物図鑑や楽座文庫などのコンテンツがさらに検索機能ができました。過去のプロジェクトについても知るることができます。

プロジェクトレポート発行中!



事務局スタッフが取材、プロジェクトの生の様子を伝えて行きます。レポートは近江楽座のウェブサイトか、学内の掲示板でチェック!

近江楽座でスキルアップ!

楽座に関わる学生や地域活動に興味のある人を対象にセミナーを開催。講師には学内外から幅広い分野の方々をお招きします。



そろそろ会でチーム間の交流も!



楽座っ子同士の交流会“そろそろ会”の企画も行っているミィ!他のチームの学生と交流できるチャンス!みんな集まれー!!

PROFILE

近江楽座学生委員会

近江楽座を更に推進していくことを目的にプロジェクトチームの代表経験者が中心となり、2006年度に結成された組織です。チーム間の交流・連携を目的として、交流会の開催や活動紹介冊子の作成など、学生ならではの視点で近江楽座をサポートしています。学生たちが学部や学科、プロジェクトの枠を超えて活動の輪を広げ、地域活性化に貢献するためのネットワークを形成していくことを目指しています。

近江楽座専門委員会

滋賀県立大学の社会貢献活動の高度化・活性化を図る、地域共生センター運営委員会の専門委員会であり、近江楽座のプログラムにおける企画・運営、プロジェクトの公募・審査、広報や学外交流などの議案を審議し、事業全般を推進することを目的とした教員による組織です。メンバーは各プロジェクトの指導教員だけでなく、それ以外の教員も含めた全学的な構成となっており、より広い視野で学生全体の地域貢献活動をサポートしています。

近江楽座事務局

近江楽座専門委員会の実務を担い、プロジェクトの募集や活動助成、予算の執行管理、活動成果まとめ、報告会の企画・実務等を行うとともに、チームの活動に対する指導や助言を行っています。また、取材や視察、協力要請といった外部からの問合せ窓口や活動紹介印刷物の発行、ホームページの運営を行い、広報・発信面でのサポートを行っています。



近江楽座

近江楽座事務局
問合せ先 | 滋賀県立大学地域共生センター
Tel | 0749-28-8616 Fax | 0749-28-8473

〒522-8533 滋賀県彦根市人坂町2500
E-mail | info@ohmirakuza.net WEB | http://ohmirakuza.net/

発行月 | 2022年7月
発行 | 近江楽座事務局
制作 | 尾崎梨帆
取材協力 | 市築梨佳子、河野輝

PROJECT CATALOG 2022



DATE

- チーム名 (参加人数※)
- プロジェクトタイプ (発足年度)
- 主な活動場所
- 代表者名 (所属)
- 指導教員 (所属)
- 関連団体
- WEB

※2022年7月時点

活動別テーマカラー

- 環境
- 子ども・教育・福祉・健康
- 防災・復興支援
- 生活文化・伝統・調査
- まちづくり・ものづくり

チームの活動が関係しているSDGsを数字のアイコンで示しています。

02 内湖の再生と地域の水辺コーディネート

SDGs 14, 15

最終 (2011年~)

学内 / 彦根市 他

松本健 (環境科学部)

湯部英祐子 (環境科学部)

彦根市東上野土地区画整理事業

https://twitter.com/bassens_wsp

水辺の多様な生き物に触れる

滋賀県立大学内外に存在するさまざまな生き物の中で生き物に触れる経験とそのため必要な知識が得られる活動です。希少な生物を調査・保全することや外来生物の駆除を通して地域の生態系の保全を目指しています。今まであまり生き物に触れてこなかった人たちがや中・高校などで調査経験のある人たちが集まっています。

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	林田田圃植樹祭	水辺の生き物調査										

2022.4 2023.3

05 地域博物館プロジェクト

SDGs 4

最終 (2012年~)

学内 / 彦根市 / 高島市 / 笠原市 / 宇内

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

自治体歴史民俗博物館

http://d.hatena.ne.jp/kabuto712/

文化財を守る学生芸員

地域博物館プロジェクトの主な活動は、地域の皆さんと一緒に「地域文化財」を活用するための博物館作りをお手伝いすることです。チーム名であるスチューデント・キュレーターとは、「学生芸員」という意味であり、滋賀県内の様々な地域で古文書や民具などを調査し、地域文化財の保存に取り組んでいます。さらに滋賀県の歴史や文化についても学ぶことができます。

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	高島市歴史民俗博物館											

2022.4 2023.3

08 政所茶レン茶

SDGs 11, 12, 15, 17

最終 (2013年~)

彦根市 / 彦根市 / 彦根市 / 彦根市

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

政所茶緑の会 政所茶産産委員会

http://www.instagram.com/madonaka4889

政所茶レン茶

私たち政所茶レン茶 (まんどころチャレンジャー) は茶の産地、政所で茶畑をお借りし、茶農家さんの指導を受けながら、お茶づくりを実践し、実際に販売することで、政所茶の魅力を発信し、地域を活性化させる活動を行っています。地元の人からお茶まつわる文化などを聞き、政所の暮らし・文化を学び伝えています。

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	政所茶レン茶											

2022.4 2023.3

11 犬上川竹林整備プロジェクト

SDGs 12, 15, 17

最終 (2021年~)

彦根市 / 彦根市 / 彦根市

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

犬上川川中地区竹林整備委員会

https://twitter.com/takegaku0517

竹の魅力を発見！発信していきます！！

竹林 GAKU は、犬上川河辺林を中心とした放置竹林の整備、切った竹の加工をします。それを通じて、整備竹林モデルを作り、発信していきます。他の茶畑と一緒に竹の加工をしたり、他の大学や一般で竹林整備を行っている団体との交流を積極的に行う、「つながり」を大事にする産産となっています！竹林の魅力を見つけていきましょう！

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	犬上川川中地区竹林整備											

2022.4 2023.3

14 おとくらプロジェクト

SDGs 11

最終 (2019年~)

彦根市 (高島市) 他

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

高島県自治会

http://www.instagram.com/otokurakissa

高宮の町に新しい風を吹かせよう

おとくらプロジェクトは、彦根市の高宮町で「新しい風を吹かせること」を目標に、伝統的な蔵を持つ古民家を改装したカフェでギャラリー喫茶とおとくらを営業して、学生と地域の人々、ギャラリ展示をする作家、中道道を歩くと人々などが、出会い、交流する場所となれるよう、所属メンバー間工夫しながら日々活動しています。

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	おとくらプロジェクト											

2022.4 2023.3

17 Taga-Town-Project

SDGs 11, 17

最終 (2004年~)

彦根市 / 彦根市 / 彦根市

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

一般社団法人多賀町協会

https://www.instagram.com/taga_town_project

多賀町の魅力を発見、発信、発信！

多賀町の魅力を「発見」「発信」「発信」をモットーに、多賀町の魅力を発信するweb広報「たがいで」を作っています！たがいででは、多賀町で活動する様々な面白い人、素敵な人へのインタビュー記事や、2か月に1回ほど、HPで公開しています！他にも産地の企業とコラボしたウェアガジンを作ったり、多賀町のイベントに参加したりと、主に多賀町を舞台に自由に活動しています！

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	Taga-Town-Project											

2022.4 2023.3

20 男鬼プロジェクト

SDGs 9, 11, 12, 17

最終 (2021年~)

彦根市 / 彦根市 / 彦根市

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

彦根市歴史民俗博物館

https://www.instagram.com/otokurakissa

里山の原風景をつむぐ、おとりびと。

男鬼集落は滋賀県彦根市の鈴鹿山系に位置する廃村集落ですが、現在でも家屋の所有者によって手入れが続けられており、神社で年2回行われるお祭りには今でもかつての住民たちが集っており、「生きた廃村集落」であるように思えます。しかし所有者の高齢化などにより管理が困難な状況が事実としてあります。本プロジェクトでは、集落の歴史を継承した持続的な集落再生をめざします。

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	男鬼プロジェクト											

2022.4 2023.3

B2 県営開会田舎コミュニティ再生プロジェクト

SDGs 11, 12, 13, 17

最終 (2016年~)、8プロジェクト

彦根市歴史民俗博物館

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

NPO法人おとくらプロジェクト

https://www.instagram.com/kabuto712/

学生が住み、生かして、つながりを広げる

滋賀県と協定を締結し、県営住宅の空き家を活用して地域コミュニティの活性化を図る取組を進めています。活動は3つの柱からなり、1つがシェアハウス。学生が実際に暮らしながら地域と関わる活動を進めています。2つ目が、学生生活の拠点「楽座ルーム」の運営。ミーティングや作業、情報共有、発信ができる共同空間として活用しています。3つ目として田舎でのイベント等を行っています。

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	県営開会田舎コミュニティ再生											

2022.4 2023.3

03 とよさと快蔵プロジェクト

SDGs 11, 12, 13, 17

最終 (2004年~)

彦根市 / 彦根市 / 彦根市

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

NPO法人おとくらプロジェクト

http://www.instagram.com/kabuto712/

空き家を改修してまちづくりをしよう！

豊郷町に残っている空き家や蔵を学生の視点から改修し、リノベーションを行うことで豊郷町を元気にしようという活動です。空き家の改修だけではなく、改修した物件でタルトラーガというBARを運営したり、イベントを開催したり、豊郷町のイベントに参加してもらったり、様々な活動を行っています。空き家から人と人の関わり、古材・古着などのつながりや体験できるプロジェクトです。

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	とよさと快蔵プロジェクト											

2022.4 2023.3

06 フラワーエネルギー「なの・わり」

SDGs 4, 7, 13, 17

最終 (2005年~)

彦根市 / 彦根市 / 彦根市

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

彦根市歴史民俗博物館

https://www.instagram.com/hatena4889

資源循環型社会のモデル化

私たち「なの・わり」では、学内の空いた土地を利用して菜の花を栽培し、種から油を絞る、その油からバイオディーゼルの燃料を精製・使用することで資源循環型社会を形成することを目標に活動しています。また、小学校で出前授業を行ったり、科学実験教室の開催等、エネルギー教育にも力を入れて活動しています。

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	フラワーエネルギー											

2022.4 2023.3

09 BAMBOO HOUSE PROJECT

SDGs 4, 11, 12, 17

最終 (2016年~)

彦根市 / 彦根市 / 彦根市

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

彦根市歴史民俗博物館

https://www.instagram.com/bhg_gram

生きる自然は地域を育む

地域と学生が協力して解決しようという取組です。竹林整備のために採集した竹を用いて、竹建築を建てていくことで、地域の交流の場となるよう目指しています。2012年より行っている整備活動のおかげで今では放課後に子どもたちが遊びに来る場所や学びの場になりました。これらも力を入れて活動しています。

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	BAMBOO HOUSE PROJECT											

2022.4 2023.3

12 日夏里かがやけプロジェクト

SDGs 2, 9, 11, 17

最終 (2004年~)

彦根市 (白旗町) 他

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

日夏里里民会

https://www.instagram.com/mkan_jendai

日夏でひかりかがやけ！

私たちは彦根市日夏町で野菜・果樹栽培、販売を通じて、地域の人と交流すること、日夏町で活動したい若者を増やすことを目標に活動していきます。日夏町にはヴォーリス建築を利用した日夏里館 (ひかりかん) という建物があったり、気になる歴史が詰まっていたり！日夏町がひかりかがやけのように、皆さんがかりかがやけるよう一緒に挑戦していきませんか？

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	日夏里かがやけプロジェクト											

2022.4 2023.3

15 未来看護塾

SDGs 3

最終 (2022年~)

彦根市 / 彦根市 / 彦根市

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

彦根市歴史民俗博物館

https://www.instagram.com/mkan_jendai

地域に住む方に健康と福祉を！

未来看護塾では、地域に住むあらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進すること、また地域の様々な人々が心も体も生き生きと健康な生活を送れるように支援することを目的とし、2004年発足当時活動を続けています。このご時世の中、活動させてくださる大切な機会、そして関わってくださる沢山の方々への感謝の気持ちを胸に、一つ一つ大切に活動をしていきたいと思います。

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	未来看護塾											

2022.4 2023.3

18 お山さんありがとさん

SDGs 2, 3, 4, 9, 11, 12, 15, 17

最終 (2021年~)

彦根市 / 彦根市 / 彦根市

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

彦根市歴史民俗博物館

https://twitter.com/oyamaan_usp

里山って、恵が多いね！

「里山からの恵恵は多い」ってご存じですか？里山からの恵恵を楽しみながら持続的に利用し、里山の利用に関心のある人々を増やす！お山さんありがとさんはそんな団体です。里山にどんな植物が生えているのかを知って、どんな管理をするか地の方々と決めて、実行！山菜や果物、花など。里山にある資源を活用して楽しもう！

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	お山さんありがとさん											

2022.4 2023.3

21 県大ラジオ部

SDGs 4, 11, 17

最終 (2021年~)

彦根市 / 彦根市 / 彦根市

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

彦根市歴史民俗博物館

https://www.instagram.com/henki_radio

県大と地域をつなげるラジオ

県大ラジオ部では地域と大学をテーマにしたラジオを放送して、地域と大学をつなげ、情報を発信して活動を行っています。彦根に住む人々、滋賀県立大学に通う学生と働く職員も様々な方のことをインタビューや対話を通して伝えていきます。スマホアプリ stand.fm にて県大ラジオ部と繋がって頂く過去放送、生放送も開き！是非お願いします！

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	県大ラジオ部											

2022.4 2023.3

01 あかりんちゅ

SDGs 7, 12, 17

最終 (2009年~)、5プロジェクト

彦根市 / 彦根市 / 彦根市

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

彦根市歴史民俗博物館

https://twitter.com/akarinchu_usp

エコでスローな夜を

電気を消してキャンドルの灯りだけで過ごす「エコでスローな夜を」広めることをモットーに活動しています。主に滋賀県内の寺院からいただいた残燭を使ってリサイクルキャンドルの製作、販売、地域でのキャンドルナイト、キャンドル作り教室を実施しています。これらの活動を通して、地域の方々とつながりを持ちながら環境について考えてもらう機会を作っています。2011年度からSプロジェクトとして活動しています。

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	あかりんちゅ											

2022.4 2023.3

04 障がい児・者、自立支援共生社会プロジェクト

SDGs 3, 8, 10, 11, 16

最終 (2009年~)

彦根市 / 彦根市 / 彦根市

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

彦根市歴史民俗博物館

https://ameblo.jp/harmony20170615/

モットーは「無理なく、楽しく！」

私たちは障がいを持つ方々と共に活動することによって互いに成長し合うことを目的に、障がい児・者の自立支援や余暇の充実の支援に取り組みしています。また、活動を通じて地域の方々と交流することで、障がい児・者を支える地域づくりの推進も目指しています。毎月の定例活動は茶道や油絵等を行います。他にも研究会などに参加し、環境問題に真摯に向き合っています。

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	障がい児・者、自立支援共生社会プロジェクト											

2022.4 2023.3

07 廃棄物バスターズ

SDGs 3, 4, 8, 11, 12, 13, 14, 17

最終 (2005年~)

彦根市 / 彦根市 / 彦根市

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

彦根市歴史民俗博物館

https://feigubasutaan.webnode.jp/

廃プラでたて生かせば資源！！

私たちは廃棄物バスターズは廃棄されたプラスチック (廃プラ) から雨水タンクを製造することを目標に活動しています。また過去に製造したリサイクルプラントを活用し、障がいをもつ方々の雇用を促進する福祉活動を行っています。さらに、彦根市を中心に清掃活動を行い、イベントや教育活動を行っています。他にも研究会などに参加し、環境問題に真摯に向き合っています。

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	廃棄物バスターズ											

2022.4 2023.3

10 とよさらだプロジェクト

SDGs 15

最終 (2009年~)

彦根市 / 彦根市 / 彦根市

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

彦根市歴史民俗博物館

http://tampoblog11c2.com/

ひと対りいごせう！ (野菜)

私たちは、豊郷町の耕作放棄地にて地域の方にアドバイスをいただきながら野菜作りを行っています。栽培した野菜を直売所などへの販売、イベント出店を行い、地産地消の促進を目指しています。また、農業が抱える耕作放棄地の増加、農業従事者の高齢化などに目を向けられたい地域活性化につなげていきたいと思います。

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	とよさらだプロジェクト											

2022.4 2023.3

13 かみおかベジ民家活用計画-SLEEPING BEAUTY-

SDGs 11, 15

最終 (2012年~)

彦根市 (上良町) 他

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

彦根市歴史民俗博物館

https://kamiokabejiproject.blog.hobnob.jp

地域よし × 学生よし × 家主よし

上良町にある一軒の古民家を活動拠点に、①ゆづりたん加工・栽培およびその販売、②古民家でのイベント開催、③古民家改修、を行っています。「地域よし × 学生よし × 家主よし」の三方よしのコンセプトに基づき、地域の人々との交流の場づくりや地域の魅力発信に取り組んでいます。

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	かみおかベジ民家活用計画											

2022.4 2023.3

16 沖島 RYUBOKU HUT プロジェクト

SDGs 7, 9, 11, 12, 17

最終 (2020年~)

彦根市 (近江八幡市沖島町) / 彦根市 (近江八幡市沖島町)

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

彦根市歴史民俗博物館

https://twitter.com/RyubokuH

価値と愛あふれる休憩所を

琵琶湖湖畔では流木が漂流し、流木の回収・処理が課題になっています。また、難島である沖島町では、建設資材を船で運んでおり、本土よりも余計な費用や時間を要しています。そこで、島に漂着する流木を収集し、収集した流木と島民の漁具の不用品を用いて島の休憩所をつくっています。流木を使った島の拠点をつくることで、人々の交流の促進と島内の資源が循環することを目標としています。

2022.4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	沖島 RYUBOKU HUT プロジェクト											

2022.4 2023.3

19 座・沖島

SDGs 11, 13, 14, 17

最終 (2009年~)

彦根市 (近江八幡市沖島町) / 彦根市 (近江八幡市沖島町)

湯部英祐子 (環境科学部)

山田真之 (人間文化学部)

彦根市歴史民俗博物館

https://www.instagram.com/za_okishima

沖島でまなぶ・まじわる・ささえる

本プロジェクトは、琵琶湖に浮かぶ唯一有人島、「沖島」で活動を行います。活動内容としては、沖島で行われる行事やイベントの手伝い、畑作業などです。その他にも様々な活動を行っており、活動を通して沖島のことをよく知ってもらいたいと思っています。また直接、学生らが沖島に行き地域活動を行うことで地域の問題を解決していきます。

2022.4	4月	5月
--------	----	----